



Aは対向車を避けるために道路左端に車両を寄せた時、散歩中のBに全く気づかず、車両の左側ドアミラーを後方からBに衝突させてしまいました。

歩行者は対向車両や追い抜かれる車から早めに自分が認識されることが重要であり、歩道の整備されていない道路を歩かざるを得ない場合は、特にこのことがポイントとなります。そのためには薄暗い環境でもなるべく目立つような、明るく派手な色彩の服装であることが好ましく、さらに反射材が貼付けられた服装であれば、もし周りが暗くなってしまってもヘッドライトで照らされて認知されやすく、より安全です。暗い場所では、懐中電灯で足元を照らしながら歩くこともドライバーから認知されやすくなり、事故防止に有効です。